

# お金の流れで読む・日本と世界の未来

～世界的投資家は予見する～

ジム・ロジャーズ著 大野和基訳 PHP 研究所  
数々の予言的中世界 3 大投資家の一人が教えるお金の教養と「次に来る」国  
( はじめに ) お金の流れをつかむには

成功したければ将来を予測しなければならない、私が 2007 年に家族でシンガポールに移住したのも、来る「アジアの世紀」を見越しての事である。

数十年に渡って日本や中国を始めアジアの歴史、その他の地域の歴史も学び世界一周旅行に 2 度出かけ世界各地で起きている事を実際にこの目で確かめ、一度はバイクで世界 6 大陸を走り 2 度目はメルセデスで 116 ヶ国 24 万 km を走破、こうしてリーマンショック、中国の台頭、トランプ大統領当選、北朝鮮の開国など数多くの出来事を事前に予想することが出来た。

\* 「歴史は韻を踏む」これは作家のマーク・トウェインの言葉で世界の出来事の殆どは以前にも起きている、似たようなことが何度も繰り返されている戦争・飢餓・不況・外国人迫害・貿易戦争・移民問題～形を変え何度も起きている。韻を踏むように、必ず形を変えながら反復をし続けるのだ。

\* 100 年前に起きたアメリカのバブル崩壊に学ぶ事～1920 年代アメリカ大統領フーヴァーは「永遠の繁栄」と呼んだがウォール街で株価が暴落してそれが 1929 年からの世界大恐慌へと波及、日本でも 1980 年代大型バブルが生じ「今度は違う」と日本人だけでなく外国人も同じような見解だった。

\* 人と同じ思考をするな、変化に対応せよ

～人と同じ事をして成功した人は今迄にいない～

序章 風はアジアから吹いている～但しその風は強弱がある、ジム・ロジャーズは英米の名門大学で歴史を学び思考力の基礎を養い、ウォール街でジョージ・ソロスと共に 10 年で 4200% という驚異的な利益を上げた。

\* なぜリーマンショック、トランプ大統領誕生を的中させられたのか～ある時、住宅ローン業務を扱う連邦住宅抵当公庫のバランスシートがおかしいことに気が付いた、そこでこの公庫の株を空売りした、それだけでなくシティバンクやその他投資銀行の株も空売りする更にテレビ出演する、周りの投資家仲間にも口を酸っぱくして進言したが「ロジャーはついに頭がおかしくなった」と言われただけだった。2016 年に東京で講演した際に「これから北朝鮮が台頭する」と発言、危うく逮捕されそうになった位だ、2 年後に「彼が正しいことが分かった」と言われた。トランプ大統領選出前も「勝つのはトランプだ」と断言したことから家族は皆ひどく腹を立てた。

\* 投資を成功させるには歴史を学べ！～というのが私のポリシーだ P 1

- \* 「アジアの時代」が到来～世界の負債は西洋に、資産は東洋に現在アメリカは有史最大の債務国で対外純資産がマイナス約 900 兆円（2017 年末）一方でアジアでは世界最大の債権国は日本で 300 兆円強、2 位ドイツ、3 位中国、4 位香港、外貨準備高では 1 位中国 3、2 兆ドル、2 位日本 1、2 兆ドル
  - \* どうする日本～日本が少子高齢化、人口減少・移民も受け入れしない、一方で高齢者などへの社会保障費用は増え続けていくので、又国債が増えていく。
  - \* 次に買いの国はどこだ～ここ 50 年の間・世界で最も刺激的な国は日本だった、それがここ 40 年間シンガポール、ここ 30 年間は中国だったそしてこれからの 10～20 年は北朝鮮・韓国の統一国家が世界で最も刺激的な国になる見込だ韓国は男性が多すぎ女性が不足している、北朝鮮は若者・特に女性が多く子供を産むことを躊躇しない、日本の少子高齢化は世界中がかたずを呑んで見守っている、日本は世界の先例になれるだろう、5 年後のアジアで最も幸福な国になるのは朝鮮半島統一の国家だろう・この国がもっとも繁栄するからだ。繁栄していると心に余裕が出来て他者に寛容になる、外国人や多様性や新しいアイデア、更に資本をもたらし国は益々繁栄する。
  - \* 史上最大の世界恐慌は確実に来る～国際金融協会による政府・企業・家計・金融機関合わせた世界の債務残高は 2018 年 2 月末 247 兆ドルで 10 年前に比べて 75 兆ドル約 43%増加、一方世界中の GDP は 24 兆ドル 37%増とリーマンショック時以上に悪化している、アメリカの中央銀行はそのバランスシートがたったの 10 年で 500%上昇している。
  - \* この 10 年でお金の流れは激変している～今世界で借金がない国は北朝鮮位だ
- 第 1 章 大いなる可能性を秘めた日本
- \* 日本の未来を世界中から照射する～閉じた国は滅び、開いた国は栄える歴史の必然～私がもし 10 歳の日本人なら直ちに日本を去るだろう本当に好きな国だから・その日本が 50 年後か 100 年後には消えてしまうのは心から残念だ、借金と少子高齢化が原因だ。
  - \* 犯罪大国になる「2050 年の日本」～国民全体が不満を覚えて破綻に向かう時は怒り・バイオレンス・社会不安が募るものだ、これはどこの国でも起こる。
  - \* 国の衰退の原因を歴史に見る～ガーナは裕福な国だったが外国人を排除して国境を閉鎖して 7 年後には互解した、ビルマもアジアで最も豊かな国だったが外国人を追放して 50 年の今は最貧国になり果てた、エチオピアも同様に、もう外国人はいらないと云って閉鎖したら完全に崩壊した、中国も過去に同じ過ちを犯し、アメリカも経済が一番繁栄を極めたのは移民法が制定される 1920 年代の前で外国人を排除し門戸を閉ざした国が衰退の一途を辿ると云うことを歴史は何度でも教えてくれる。
  - \* 日本の好景気はうわべだけ～50 年前の日本は貯蓄率で世界第 1 位

国債残高はゼロだった、今 10 歳の子供達が 40 才になる頃には彼らの老後を保証するお金は尽きている、経済が活性化する国はどこでもインフレに依存していない、今日本の株式が上がっているのは日銀が買いまくっているから。

- \* いつか「安倍が日本をダメにした」と振り返る日が来る
- \* 危機にこそ投資の機会がある～日本は東日本大震災から立ち直ると信じていたから日本株を買った、大震災の前にも非常に安かったので買い始め大震災後に信じられない位に下落したので買い増した（1989 年の最高値から 8 割も下落）私がかねてから「世界中の株が暴落しても日本株・中国株・ロシア株は保有」と言い、アメリカ株は高値にあるから買わないと。
- \* 移民を受け入れる国は栄え拒む国は滅びる～移民受け入れは犯罪者を増やすのか～外国人が罪を犯した時だけ「外国人」であることを強調し先入観を植え付けてしまう～国を閉鎖して成功した例は全くない、だから日本にはもっと外国人が必要だ。
- \* 日本に投資するなら観光・農業・教育～日本がこれから伸びる産業とその理由個人的には観光・農業・古民家に投資したいと思っている、日本は素晴らしい国で名所がおびただしい数があり中国人にとっても魅力的な観光地だ、またベトナム人にとっても行きたがる国だ。  
日本の農業分野は可能性の山～担い手さえあれば競争のない農業は低賃金で働いてくれる外国人を入れれば農業は成長産業になれる。
- \* 「日本再興への道」～日本人が持つ 3 つの強みと日本経済への 3 つの処方箋
  - ①クオリティへの探求心は日本人の最大の強みで二番目の国を思いつかない程だ、アメリカの産業であるアルミ・鉄鋼・オートバイ・自動車ありとあらゆる産業を破壊した。品質を犠牲にして低価格で長続きした会社は歴史的に見て存在しない。
  - ②類まれにみる国民性で非常にまじめに働いている、世界中で成功している成功者は皆持っている素質だ。
  - ③貯蓄率の高さ～経済の原則では貯蓄＝投資になる、日本の貯蓄率は世界 1 位  
もし私が日本の総理大臣になったら
    - ① 歳出の大幅カット～とりわけ公共事業に必要以上お金が投入されている
    - ② 関税の引き下げと国境の開放～保護主義に走るといいことがない
    - ③ 移民の受け入れ（ただし慎重に）更に 1 点付け加えるなら日本はエンジニア養成に国費を投入する必要がある。  
もしも私が日本人で今 40 才なら「農場を買う」誰も買おうとしないから安い最近の 60 歳代は定年退職後でも体力と頭脳が有り余っている、そんな人たちに働いてもらう、古民家のチェーン事業化・教育事業にも着手、外国人雇用の為にも大学が余っている日本は韓国や中国・インドなどの

不足している国から学生を呼び寄せるのは容易だ。

第2章 朝鮮半島はこれから「世界で最も刺激的な場所」になる。

- \* 南北の統一が進めば韓国経済が抱える問題は全て解決し北朝鮮は2桁成長する両国は今後10~20年間に投資家に最も注目される国になるだろう、真っ先に開かれるのはツーリズムではないか、北朝鮮の開国で韓国の少子高齢化の問題は解決する。
- \* 韓国財閥は良くも悪しくもキープレイヤーとなる~韓国の株価指数の中で実に半数以上が5大財閥に独占されている(サムスン、SK、ヒュンダイ、LG、ロッテ)韓国の財閥系列は国内株式時価総額上位30社の内25社を占める。韓国の子供達の「なりたい職業ランキング」第一位は公務員で11年連続して「教師」公務員試験の合格率は1、8%に挑戦する彼らの努力は凄い。
- \* 私が北朝鮮に投資したいと断言する理由~豊富な資源、勤勉で教育水準の高い国民性、北朝鮮のポテンシャルは高い、もともと北朝鮮は韓国より豊かな国だった、現在は世界の最下位レベルだが1970年迄は韓国より豊だった、北朝鮮の人々が日本人と同じような子供の教育に熱心でしっかり躰もする、一生懸命に働き貯蓄もする。
- \* 北朝鮮がひそかに進めている開国準備~多くの人材をシンガポールや中国に送り込んで企業や資本主義、所有権や株式市場について学び開国の準備をしている、北朝鮮には現在「自由貿易地域」と呼ばれる個所が15か所ある。開城工業団地(北朝鮮側)は複数の工場があり働くのは北朝鮮の人達で儲けは120余りの韓国の企業、2016年の長距離ミサイルの発射で操業停止中だが北朝鮮側は秘かに工場を稼働2018年8月には韓国も電力を供給すると発表した。金正恩は幼少期をスイスで過ごした、他の将官達は若い頃に北京や上海、モスクワを経験「30年前と比べピョンヤンは時代遅れのままだ」とため息をつく変化が起きつつある。
- \* 朝鮮半島統一の恩恵を受ける産業は何か~多くの選択肢が待っている。私が大韓航空に投資する理由~朝鮮半島で今後5年間に急成長はツーリズムと農業、他に鉱山業、漁業、アパレル産業も期待大、韓国の産業は今後20年幸福な時を過ごす~アパレル産業も人件費も安くて衣類を安く生産できる。考えうるバッドシナリオ~アメリカの動きから目を離してはならない「在韓米軍の行方」ざっと3万人近く韓国基地で中国とロシアの国境近くアメリカが軍隊を持てる唯一の場所で何としても保持しようと思っている、北朝鮮に対する経済制裁もアメリカは世界中の中で最後まで続けるだろう
- \* 既に着々と北朝鮮進出を進めている中国・ロシアの思惑~ロシアは既に自国と北朝鮮を繋ぐ鉄道を建設、北朝鮮の北側ロシアに近い側に2~3の港湾施設を建設、中国も同様に北朝鮮に通じる橋や道路を建設している。

\*もし韓国がアメリカに屈すれば朝鮮半島は大混乱し戦争になるだろう、そう  
ならなければ世界中の資金が朝鮮半島に流れ込む。

### 第3章 中国・世界の覇権国に最も近い国

～ジム・ロジャーズは2007年アメリカからシンガポールに移住、理由は最愛の  
娘達に中国語を学ばせる為だ、世界の中心は中国に移るゆえに将来性のある  
若者は中国語を学ぶ事が大きなアドバンテージになる。

\*中国にはまだまだ爆発的な成長の可能性がある～長期的な視野で見れば中国  
の台頭は続く、いま世界を支配するのに最も近い距離にいるのは中国である。  
中国は毎年アメリカの10倍、日本の15倍程のエンジニアを輩出している、  
実に驚異的な数字だ、中国の百度、アリババ、テンセント、華為（ファーウェイ）  
の4社が急成長しアメリカの4大IT企業のグーグル、アップル、フェイス  
ブック、アマゾンを凌ぐ勢いで急成長している、現在中国経済を牽引してい  
るのは非国営企業IT企業やシェアリングエコノミー等のニューエコノミーだ  
最近中国で事業を起こした人は会うと皆、ビジネスがやりやすいという。

\*中国に投資するなら環境ビジネス・インフラ・ヘルス産業

～もし中国で環境汚染対策のビジネスを始めれば大成功するに違いない、中国  
はまだ政治と環境ビジネスの癒着はない、私は中華系航空会社の株を持って  
いるが中国の空の旅は新しい領域で今後更に伸びる、中国の鉄道事業株は世  
界の中でも安泰な株、投資先として綿やニッケル・石油は国内で不足益々消費  
が促される環境・農業・ツーリズム・鉄道の分野だ。

\*独裁体制は悪なのか～シンガポールの初代大統領リー・クアンユーのような  
独裁者がいたから天然資源どころか水すら足りない人口100万人の島国が人  
口560万人以上世界トップのハブに迄のし上がった、日本は過去50年間事実  
上の一党システムによって最も成功した国と言え、中国も寡頭政治で成功  
した国だ、過去100年間で鄧小平ほど頭が良くて見識のある指導者は殆どい  
なかった、習近平は第二の鄧小平になれるか10年経ったら振り返ってみたい。  
総書記は9千万人の共産党員の総意で選出されある意味アメリカの大統領選  
よりも公平な制度だ。独裁体制は経済にとって必ずしもマイナスに働く事は  
なく全て独裁者の器次第だ。

\*チャイナリスクはどこにあるか～低下を続ける出生率～子供を二人産む事は  
合法となったが中産階級以上はそれを望んでいない、経済的負担になるから  
「広がる格差」地方と都市では社会保障も異なる3兆2千億ドルの外貨準備  
高があるから財政支出を増やす事に問題はないが「急激に増えた借金は危険  
信号」2017年9月末約4412兆円、対GDP比342、7%かつてこれ程の大きな  
借金を抱えた歴史がなく、中国はその処理の仕方を知らない、企業や自治体の  
借金も膨れ上がっており、いずれ倒産・破産するところが出てくるが P 5

中国政府は救済しないと明言、日本やアメリカよりズーと資本主義的である、対して日本やアメリカは銀行の国有化や企業救済等まるで共産主義化、ゾンビ企業・銀行が日本にはいまだにはびこり過剰な保護政策により生かされている「生ける屍」ともいえる「破産なき資本主義は地獄なきキリスト教」

日本とアメリカの逆の例でスウェーデンは1990年過剰な救済措置を取らず、2～3年悲惨な状態が続いたがその後一転して好景気に沸いた、1994年のメキシコ、1990年代のロシアやアジアでも同じようなことが起きている、何処の国も最悪の事態を経験し、それを抜け出してきたからこそ信頼できる成長国として台頭した。

- \* 中国への箴言～国内に多くの金が閉じ込められているのも大きな問題、日本では金銭を自由に海外に持ち出せる、中国はそれができないから不動産を買う以外に道がなく不動産バブル状態になっている借金の問題より先ず中国が解決すべき事はこの閉鎖された経済、そもそも人民元という国の通貨が管理通貨なのだ。

「もう一つの中華経済圏」台湾、マカオ～大国に振り回されず独自の道を行く両者ともに“中国と台湾はひとつの国”だという見解は一致しており、いずれゆっくり一つの国になるだろう。ホンハイの買収劇はシャープV字回復後もますます盛んに。百年後マカオの地位は下落する、日本は品質で世界一なので日本のカジノも品質が高いものになるだろう、それにより近隣諸国のカジノはいくつか倒産するかも。

- \* 米中覇権戦争の勝者は～中国のファンダメンタルズは強いが、米ドルは上げ相場を続けるだろう～貿易戦争は愚の骨頂、歴史を振り返ればプラスに働くことはないと分かる、これから十年米ドルは上げ相場を続ける歴史的に見て唯一の「安全な避難先」は米ドルだ、唯一ドルの対抗馬としてありうるのが中国元なのだ、歴史上で三度も繁栄を極めたのは中国だけで実に驚異的な国。

#### 第4章 アジアを取り囲む大国たち～アメリカ、ロシア、インド

- \* アメリカの上昇トレンド終焉後の世界～米中貿易戦争がもたらす悪夢

アメリカで上がっているのは一部メガIT企業株のみ

- \* 1920年代にアメリカの関税法が招いた悲劇～1929年株式市場はにわか景気で歴史上最高の10年間だったがアメリカ議会は関税法を通そうとしていた、それは非常に大きな関税であり著名な経済学者はほぼ全員「関税法を通すな」と新聞広告を出したが議会は通して大統領が署名した、その途端株式市場が暴落したのだ。1930年代は世界大恐慌が大きな影響を及ぼし、その後第二次世界大戦が勃発し世界中の経済が崩壊した。それでもトランプは貿易戦争を正しい行いで自国が勝つと思っている、彼の言動は間違っている。政治家はいつでも歴史について間違いを犯してきた、

米中貿易戦争が本格化すれば必ず恩恵を受けるのはロシア農業と鉄メーカー

- \* インド経済はどうか～「一生の中で一度は訪れるべき国」だがいまだに本物の国家ではない、インドには世界最悪の官僚制度がはびこっている、使われている言葉も何百種類、民族集団の単位・宗教も多い、インドはまだまだ国として成長途上の国だ。

- \* ロシア経済も注視せよ～ロシア投資は狙い目

私は各業界に多くの投資し、肥料業界の銘柄も持っている、ロシア株式は 2008 年頃の最高値から半減したまま、今国債を買うには最もふさわしい国、債務が少ないのはどこもロシアに金を貸さないから、毛沢東時代の中国に似ている、ロシアの金利は 2018 年 11 月 7、5%

ウラジオストックの可能性～プーチン大統領はロシア極東を開発しようと莫大な資金を投入、今はあらゆる所に高速道路も橋も出来ていると、中国企業も進出しつつある、メディアの反ロシアプロパガンダに騙されるな、トランプがロシアを痛めつけようとするほど中国とロシアは距離を縮めていく。

## 第 5 章 大変化の波に乗り遅れるな

～投資は簡単でないが、誰にでも増やせるコツがある、抜け道はないがカネが金を生んでくれる仕組みはある。

- \* 人のアドバイスに耳を傾けるな

- \* ジム・ロジャーズ流「情報の入手法」～日常的なメールに業界の動向や株価の値動きの参考になるメッセージが隠れている、新聞はファイナンシャルタイムズとザ・ストレーツタイムズとザ・ビジネス・タイムズというシンガポールの経済誌だ、インターネットが台頭してきたので購読紙を減らした。

- \* 学歴と成功は無関係～頭を使って正しく投資すればカネが自動的に金を生む、それが投資の面白さだ、世界で起きる出来事の全てはあなたの仕事は何であれ最終的にあなたの人生に影響するのだ、世界中で常に何が起きているのか把握しておかなければならない、それが投資のむつかしさであり面白さだ。

- \* 全財産を失って気付いた人生の哲学～「待つ」事は時に行動するより大切だ、1973 年にジョージ・ソロスと運用を開始した「クオンタム・ファンド」が成功は他の人が知りもしない所に投資したからである、当時はまだ興味を持つ人が少なかった、海外投資やカラ売りに二人で積極的に取り組んだ結果 4200% と伝説的なリターンを得ることが出来た「もし北朝鮮に証券取引所が開設されたら直にでも買うべきである、問題は既に多くの人が目をつけている点だ」

- \* 「待つことが出来る」のは重要な才能の一つ～私はこれまで手酷い失敗をしてきた事が幾度もあるが、その時はいつもリサーチが不足していた、自分がよく知っている業界や国に投資することが一番だ、確実に商機が見えるまで辛抱強く待つことだ「儲けの直後は一番失敗しやすいとき」

儲けた時こそ何もせずいるのが一番だ。

\*資産を3倍にした5ヶ月後に全財産を失って気付いた事～ウォール街でビジネスを始めてすぐ5ヶ月で資産を3倍にして周りの人はすべて失っていた、それで自分は頭がいいと思い込んでしまい5ヶ月後全財産を失ってしまった。

\*「経済の変動に左右されない人生を送る秘訣」

～世界金融危機から身を守る最善の方法、世界中が紙幣を刷りに刷っている今こそリアルセットを持つべきである（金・銀・古い切手）

\*これから絶対必要になる二つのスキル

～日本人にとって外国語のマスターは必須事項一つでも多くの言語を理解すれば入ってくる情報量と内容が劇的に変わる日本人にとって外国語マスターは今後必須事項と言っていい。

私が日本人の若者なら移住先は「韓国か中国、コロンビアかベトナム」多くの宗教や民族がない地域に多民族・多宗教より安定した未来が約束されている。

## 第6章 未来のお金と経済の形

\*AIで消える産業・伸びる産業～フィンテックにより金融界は激変するだろう  
ゴールドマンサックスのトレーダーが600人から2人に減った理由

～2018年6月私は又一つ新しい世界に足を踏み出した「AIを使った投信＝BJKR」を立ち上げ会長に就任、AIやブロックチェーン技術により今存在している銀行は消えるだろう、今銀行が果たしている機能は全てインターネットに移行、日本にある銀行の店舗は新しいテクノロジーについていけない老人達だけが訪れる、同じことが世界中で起る。

\*ETFは急成長していると同時に同じくらいの勢いで縮小しつつあるETF・ETP関連のファンドは増えているが倒産も多い、ヘッジファンドの利益率は下がり続けている、これから投資を始めるならETF以外の株・それが成功へ近道

\*お金の形が変われば経済も変わる～キャッシュレス経済を推進する政府の思惑を警戒せよ各国のキャッシュレス決済比率の状況＝2015年韓国89%中国60%カナダ・イギリス58%アメリカ45%フランス39%インド38%日本18%ドイツ14、9%中国都市部におけるモバイル決済の利用率は実に98、3%現金を使うのは外国人観光客ぐらいだ。

\*キャッシュレス経済と各国の思惑～政府は一刻も早く物理的なお金をなくしたいと思っている、紙幣の印刷や貨幣の製造には莫大なコストや保護も莫大にかかる、金銭のやり取りがすべてコンピュータで行われると政府は私達の行動をすべて把握できる、中国やロシア、ブラジルでは米ドルに代わって仮想通貨の導入がすすめられている、米ドルと同じ価値を持つデザート（USDT）なる仮想通貨も登場している。

\*ブロックチェーンで伸びる国はどこだ



～アフリカは大きく躍進を遂げるだろう、昨今アフリカでは一気にスマホ社会になった。

アフリカ以上に早く変化があらわれるのが東アジア、IMB もアリババも既に参入しているサムスンも参入、しかし私が探しているのはブロックチェーンが会社全体の経営に大きな影響をもたらすような中小の会社銘柄だ。

( おわりに )

思い込みから自らを解き放て・歴史から学べ、そして実際の経験と結びつける、変化は恐れるものではなく楽しむもの。

イギリスの詩人ラドヤード・キプリングの言葉～

「イギリスの事しか知らない人が、イギリスの何を知っているというのだ？」

( 完 )